



COVID-19パンデミック禍での 薬剤師の貢献度、メリット、ストレスについて

鈴木知子¹、佐竹尚子²、吉岡優子³、浜田康次⁴、山村重雄⁵、佐藤透²、池田俊也¹

¹国際医療福祉大学医学部、²横浜薬科大学実務実習センター、

³(社)日本コミュニティファーマシー協会、⁴アポクリート(株)、⁵城西国際大学薬学部

* E-mail: tsuzuki7@iuhw.ac.jp

目的

COVID-19パンデミック禍により、調剤薬局、ドラッグストアでは、COVID-19関連の薬の供給や医療情報の提供等により薬剤師業務に変化がみられ社会に大きな役割を果たしたと考えられる。

今回、薬剤師の貢献度、メリット、ストレスについて行った調査より、将来の新たな感染症のパンデミック禍での薬剤師の役割に資するための振り返りを行った。

方法

- ✓ 対象: 勤務している全国の保険薬剤師438人
- ✓ 調査方法: 自記式調査票によるWeb調査
- ✓ 調査時期: COVID-19パンデミック禍2021年度 (2021年9月~2022年1月)

✓ 調査項目:

- (1) 薬剤師としてCOVID-19禍にて貢献できたこと
- (2) COVID-19禍での薬剤師のメリット
- (3) COVID-19禍でストレスに感じたこと

対象者の背景 (n= 438)

年齢	(歳)	40.9±10.8
性別	男	249 (56.8)
薬剤師人数/事業所 (人)		8.3±8.4
勤続年数	(年)	6.4±7.0
職位	一般(職位無し)	255 (58.2)

mean±SD, n (%)

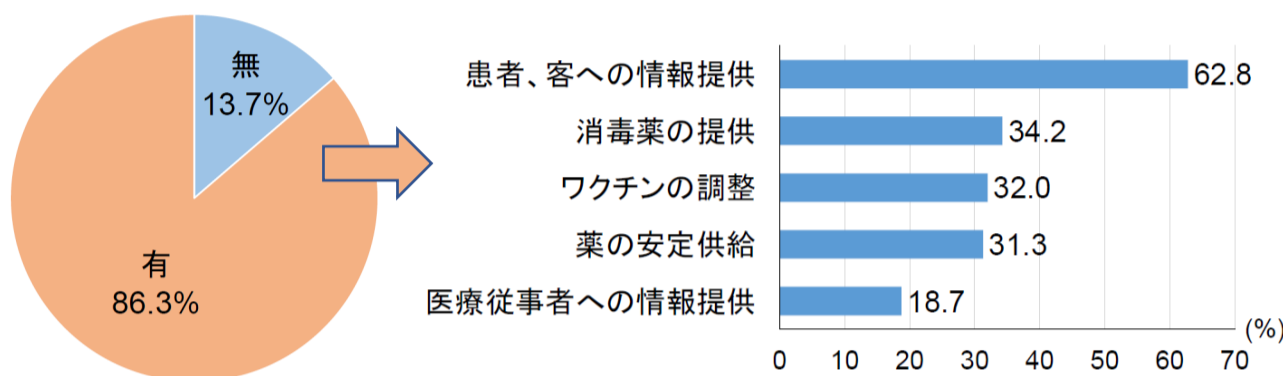
考察

COVID-19パンデミック禍では、地域医療を担う一員としての薬剤師の役割や期待が大きかったと考えられる。

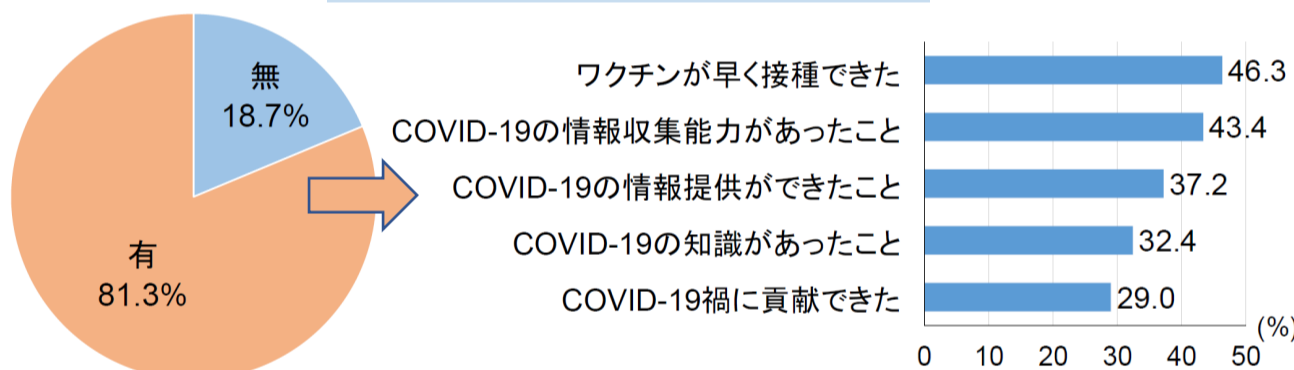
今後、新たな感染症のパンデミックが起きた時には、感染を防止しながら患者の健康を支え、誤解を招かないための正しい情報提供等の薬剤師の社会貢献が求められると考えられる。

結果

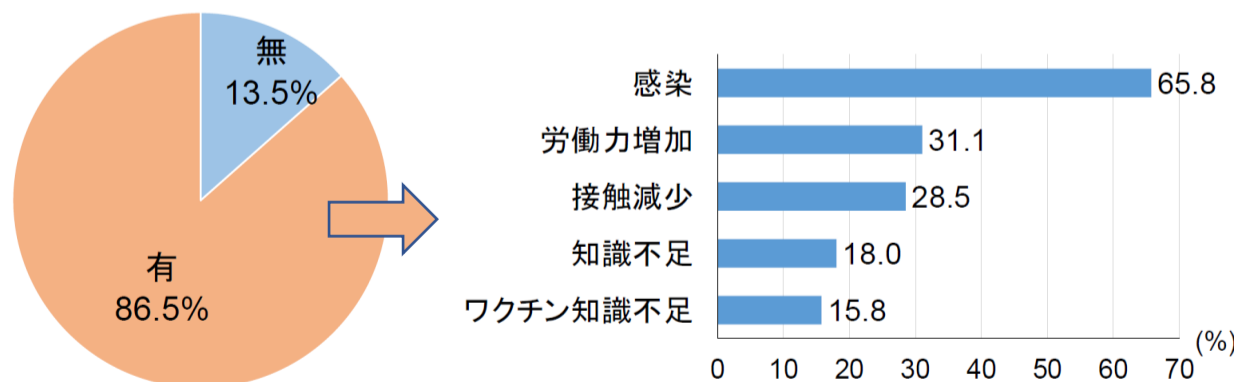
(1) 薬剤師として COVID-19禍にて貢献できたこと (n= 438)



(2) COVID-19禍での 薬剤師のメリット



(3) COVID-19禍で ストレスに感じたこと



演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。